



スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業

令和7年度予算額

2,287百万円

（前年度予算額

2,286百万円）

※運営費交付金中の推計額



文部科学省

目的

- 先進的な理数系教育や文理融合領域に関する研究開発を実施している高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」に指定し支援することを通じて、将来のイノベーションの創出を担う科学技術人材の育成を図る。
- 高等学校等の理数系の教育課程の改善に資する実証的資料を得る（学習指導要領の枠を超えた教育課程の編成が可能）。

参考1

事業概要

<SSHとしての指定>

【基礎枠】

- 令和7年度指定校数：
230校（うち認定枠：17校）
（うち新規：27校（うち認定枠：2校））
- 指定期間：各期原則5年
- 支援額：6百万円～12百万円/年
- 類型
 - <基礎枠> 自然科学を主とする先進的な理数系教育に関する研究開発を実施。
 - <文理融合基礎枠> 社会の諸課題に対応するため、自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」との融合による「総合知」を創出・活用した先進的な理数系教育に関する研究開発を実施。

<SSH指定校への追加支援>

【重点枠】

- 令和7年度重点枠数：
10校+1コンソーシアム（うち新規：2校）
- 指定期間：最長5年
- 支援額：5～30百万円/年
- 類型
 - <高大接続> 高大接続による一貫した理数系トップレベル人材育成プロセスの開発・実証。
 - <広域連携> SSHで培った成果等を広域に普及することにより、地域全体の理数系教育の質を向上。
 - <海外連携> 海外の研究機関等と連携関係を構築し国際性の涵養を図るとともに、将来言語や文化の違いを越えて共同研究ができる人材を育成。
 - <革新共創> 社会問題・地域課題について、文理横断的な領域も含めた科学的な課題研究を行い、新たな価値の創造を志向する人材を育成（アントレプレナーシップ教育等）。
 - <探究推進> 優れた研究開発の成果を活用した取組を更に深化・高度化、普及展開。

<管理機関への追加支援>

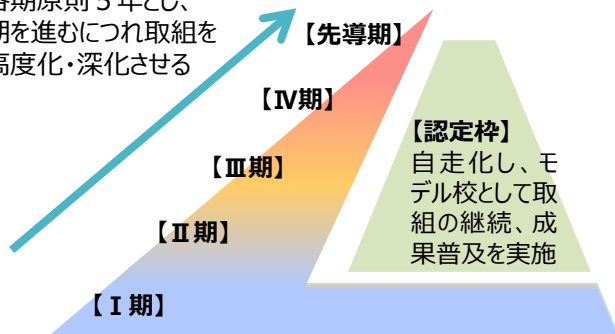
【SSHコーディネーター】

- 令和7年度配置数：15機関
- 支援額：6.6百万円/年
- 令和5年度より開始

以下目的を達成するため希望するSSH指定校の管理機関（教育委員会等）に「SSHコーディネーター」を配置

- ・ SSH指定校や地域の探究・理数系教育の充実
- ・ 域内外の学校への成果普及
- ・ 外部機関との連携を推進
- ・ SSH指定校の自走化

各期原則5年とし、期を進むにつれ取組を高度化・深化させる



支援内容

- ・ 学習指導要領の枠を超え、理数を重視した教育課程の編成
- ・ 国内外の高校・大学等との連携、課題研究の実施等に係る費用（旅費、物品費、等）の支援

成果

- ・ 学習指導要領改訂（科目「理数探究基礎」及び「理数探究」を新設）
- ・ 科学技術への興味・関心や姿勢の向上、進路選択への影響
- ・ SSH卒業生の国内外での活躍
- ・ 科学技術コンテスト等における活躍

（担当：科学技術・学術政策局人材政策課）